

山梨県神社庁報

かみかね

第158号（平成24年 7 月20日）



神社本庁、総代会	2～3	各種団体	11～13
神政連、神宮、表彰	4～5	支部だより	14
教化委員会	6	神社・祭典紹介	15
まんが古事記（やまたのおろち）…	7～10	今後の予定	16

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかかげて向うところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩に感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

神社本庁五月定例評議員会

神社本庁 評議員 小佐野 正 史

去る五月二十四・二十五日の両日神社本庁大講堂において平成二十四年五月定例評議員会が開催された。

第一日目、二十四日午前十時開会、冒頭挨拶に立たれた北白川統理は「斯界を取り巻く環境は厳しさを増している。こうした多難な時こそ先人の叡智に学び、神社本庁憲章の精神のもと社会の恢復に努めていかねば」と述べられた。

鷹司神宮大宮司の挨拶に続き長曾我部神道政治連盟会長が挨拶に立たれ、政府提案の「女性宮家の創設」案は「男系男子で継承してきた天皇家の歴史を変えるものだ」として批判。自民党の有村参議院議員の「旧宮家の方々の皇族復帰により男系皇族方を増やし、皇位継承を確かにする」との案を紹介した。

議事に入り、田中総長が登壇して平成二十四年の本庁庁務の方針について概略を説明した。続いて、平成二十四年度予算に関する「平成二十四年度一般



会計歳入歳出予算案」「一般会計資金年度内一時繰替の件」「平成二十四年度職員退職死亡給与基金特別会計歳入歳出予算案」の三議案が一括議題として上程され、田中総長がその大綱を述べた。「今年は神宮大麻全国頒布一四〇年の年」と言及。「二十万家庭神宮大麻奉斎運動」の一環として取り組んできたモデル支部制度を総括し、神宮大麻奉斎啓発のための映像を制作することを報告した。震災対応として震災対策室を中心に神社復興支援金の活用など長期的な復興支援を実施すると強調。教化活動は、神宮奉賛や神道の自然観啓発などの教化実践目標に則した施策を推進し、神社と氏子の関係強化を図るとし

た。神社振興対策、神職の教育、後継者育成、不活動神社対策、式年遷宮記念事業、時局対策などにも言及した。平成二十四年度一般会計予算案は総額五十億四千三百三十八万九千円で前年度比一三五八万円の減額計上となった。「被災神社の復興を最優先する」予算案で岩手・宮城・福島各県の神社には負担金減額の特別措置を継続する。

休憩の後、ふたたび議事に入り、一般会計予算案等審議した。質疑後一号より七号のうち四議案はさらなる慎重審議を図るため、予算審議特別委員会を設置して審議を附託することとされた。

二日目、二十五日午前九時三十分開会、前日の本会議延会後に開催された議案審査特別委員会と予算審議特別委員会での審査・審議内容について両委員長が報告した。提出議案については、委員長報告の通り五件追加議案とし本会議上程、提案者の説明後、すべて原案通り可決された。（神社新報参照）また、予算審議委員会に附託された四議案については、委員長報告後に採択がおこなわれ、いずれも原案通り可決された。

全国神社総代会定例代議員会報告

山梨県神社総代会 副会長

千 野 利 雄

全国神社総代会の平成二十四年定例代議員会が五月二十二日午後一時より神社本庁大講堂で百七人の代議員が出席して開催された。(本庁から宮川睦武会長・羽中田進庁長・千野出席)開会に先立ち、修祓等開式儀礼に続き総代会関係物故者に対し黙祷が捧げられた。

開会にあたって、会長挨拶では(荒巻副会長長代読)東日本大震災に触れ、神社復旧・復興を通し、再生の支援をする。また来年に迫った神宮式年遷宮の意義を広く伝える活動の展開等を強く要請された。

神社本庁統理挨拶(田中総長代読)全国の総代における神社の護持運営・隆昌に対する謝



辞。東日本大震災被災地支援に努め一日も早い復興を祈る。遷宮については国民総奉賛の気運を昂

め、神宮奉賛に向けた諸活動を力強く展開していくと述べた。議事に入り、平成二十三年会務報告、平成二十二年度歳入歳出決算の説明があり、監事より監査報告があつて、いずれも承認された。続いて平成二十四年度事業計画案並びに予算案が提出され、両案とも承認された。事業案では被災地に長く心を

平成二十四年山梨県神社総代会大会報告

山梨県神社総代会

副会長

中 田 欽 哉

六月二十五日、梅雨時期にも関わらず晴天となり「山梨県コラニー文化ホール、大ホール」を会場に平成二十四年山梨県神社総代会大会が盛大に開催された。

当日、午前十時に、ホールに集合し舞台設営、配布資料の袋詰め、記念品の確認、総代会被表彰者へのリボン、受付等の準備が速やかに行われた。舞台では、司会を務める千野利雄副会長がリハーサルを行い、私も萬歳奉唱の練習を行った。昼食を摂り休憩の後、午後十二時三十

寄せ、復興に向けた長期的支援を行う。また、神宮式年遷宮に向けて、全国神社役員・総代の叡智を結集して啓発活動を推進し、神社の興隆と神道精神の発揚に努めるべく、左記の実践目標七項目の完全実施を展開することが明記された。

「皇室敬慕の念を喚起し、尊厳護持のための啓発活動」「神宮式年遷宮の意義啓発と神宮大麻頒布推進」「東日本大震災からの復興に斯界全体で取り組み、神社の伝統継承」「祭祀の振興

分に開場をすると県内各地より続々と神社総代や役員の方々にお集まりを頂き、あつという間に満員となった。

午後一時三十分、小林弘樹副会長の開式の辞に始まり、神宮遙拝、国歌斉唱、敬神生活の綱領唱和と続き、宮川睦武総代会長の式辞、羽中田進神社庁長より御挨拶を頂き、神社本庁規定表彰を授かった、稲積神社総代会長小尾武氏に伝達があった。引き続き県内総代会や神社運営の功労者など七十四名の方々の

と鎮守の森の保護育成」「次代を担う青少年の健全育成」「国旗・国歌及び祝日の意義啓発」「適正な神社運営を図り、神社の奉護」

その他として、

九月八日に栃木県宇都宮市で開催される第四十八回全国神社総代会大会について、地元代表から歓迎の挨拶があつた。

議事終了後に、伊勢神宮崇敬会より同会の活動に理解と協力要請があり、代議員会は閉会。

表彰が行われた。次に御来賓方々を代表され「神道政治連盟山梨県本部顧問赤池誠章氏」より御祝辞を頂き、被表彰者よりの謝辞を述べ、堀内邦満理事が大会宣言を行った後、参加者全員にて萬歳奉唱を声高らかに唱えた。最後に天野和喜副会長の閉式の辞にて滞りなく大会が閉会となった。

第二部の東屋浦太郎先生の浪曲を楽しみ、本総代会大会の全ての日程が終了した。ここに御参加を頂いた県内神職・総代会・各関係団体の皆様に厚く御礼申し上げ報告いたします。

神道政治連盟中央委員会報告

神道政治連盟山梨県本部長

佐々木 幸 永

平成二十四年六月十二日十六時本庁に於いて、本部長・事務局長連絡会が開かれ、平成二十三年度業務報告・皇室の尊厳護持運動・取り組むべき諸問題への現状・年度別会員数並びに会費納入現況・平成二十三年度協賛金納入現況・第二十三回参議院議員選挙への取り組み・その他が議事とされた。ホテルニューオータニに移り、神政連国会議員懇談会総会並びに、神政連都道府県本部役員との合同懇談会が城内次長の司会により進められた。安倍会長・長曾我部会長挨拶、山谷福幹事長・稲田事務局長・各活動報告後合同懇談会。翌十三日十時本庁にて中央委員会開会。三笠宮寛仁親王殿下の御尊霊に黙祷を捧ぐ。神殿拝礼、国歌斉唱、宣言綱領唱和、長曾我部会長挨拶で女性宮家の件、尖閣諸島の問題、有村治子氏を参議院選挙に推薦したので全幅の支援を願う。祝辞で田中総長、被災地復興協力のお礼、皇室の尊厳護持、女系天皇は在

つてはならないこと民主政権は混迷を窮めている、一丸となつて政権を替える、谷垣自民党総裁、有村推薦のお礼、国の歴史・文化の原点を揚げて進んで行く、先輩達の築き上げた伝統を尊重し大らかな憲法に作り直す。福田事務局長は民主党政権を一日も早く潰す事が最大の国益である「疾風に勁草を知る。」次に表彰式、渡辺幹事長共々拝授。議事に入る。例年通りの五議案、全て認定及び可決。中曽根幹事長・有村副幹事長到着・幹事長挨拶・有村治子氏に参議院選推薦状授与、おえて閉会。

平成二十四年度 神宮・伊勢神宮
崇敬会参与・同評議員会報告

峡中支部長

斎 藤 實

御遷宮の諸祭諸行事が順調に進められている中、六月七日せんぐう館見学、外宮、内宮の参拝を行い、翌日神宮参与、同評議会が伊勢市観光文化会館大ホールにて全国から四四三名の参加のもと、二年ぶりに開催された。鷹司尚武大宮司より寛仁親王殿下が六月六日薨去され哀悼の意と斯会に對しての御心をお寄せ頂いた事への感謝の意が述べられた。式年遷宮の奉賛金も目標額達成、又、臨時神宮齋主として黒田清子様を式年遷宮に伴う諸祭儀の奉載等が説明された。豊田章一郎神宮崇敬会会長からは昨年の東日本大震災の御助力、遷宮奉賛金、崇敬会の運営等御協力を戴いた旨が話された。功労者の顕彰では、せんぐう館に多くの絵画を奉納した日本画家の鳥居禮氏に感謝状と記念品が贈呈された。来賓を代表して北白川道久統理（代読田中恆清総長）、鈴木健一伊勢市長の祝辞の後、議事に入り高城治

延少宮司から神宮の概要説明、この秋竣工する神宮会館の説明があった。担当部長から神宮の現状についての説明があり、主だった事はせんぐう館入館動向、平成二十三年両宮参拝者数、神宮大麻・曆頒布数推移等の説明と伊勢神宮崇敬会会務報告があり、閉会となった。

敬神功労章受賞して

浅間神社 役員

小林 弘 樹

二十四年春、敬神功労章の授与式は四月二十四日午前十一時より開式、修祓、祭主祝詞奏上、役員受章者玉串を奉りて拝礼した。今年度の敬神功労者のうち特別功労章は二名、功労章は十名、有功章三十六名だった。功



労章授与式の後、役員式辞として田中恆清総長よりご懇篤なお言葉をいただきました。受賞者を代表

し、不束な私だったがご指名をいただいたので謝辞を述べた。

「受賞者を代表いたしました一言御礼のご挨拶を申し上げます。私どもは図らずも平成二十四年の春の神社本庁敬神功労章授賞式において表彰の栄に浴し身にあまる光栄と存じます。また、只今は神社本庁田中総長様から御懇篤なるお言葉を賜り感激に堪えないところであります。この受章を機に決意を新たにし地元神社の護持、発展のため一層の努力を致す覚悟でございます。どうか今後とも格別のご指導を賜りますようお願い申し上げます。」と。

このあと、直会は明治記念館で行われた。図らずもわたしは田中総長とテーブルを同じくし親しくお話を伺うことができた。石清水八幡宮の話に及んだ時、興味は津津。まさしく啐啄の如きだった。(総長は石清水八幡宮宮司)石清水八幡宮は僧侶が創立した社なので、神社の組織はすべて僧侶本位であったこと。それに年中の祭典も仏式の社会によって行うなどであったが、明治維新の後神仏分離、

官幣大社に列格になった。今の本殿は徳川家光の造営で八幡宮の代表的なもので重要文化財となっている由。この機会に高貴な人と話せ、知識が得られたりして大きな収穫があった。今後自分の任務の遂行に努めていきたい。

神社本庁規定表彰受賞して

穴切大神社 宮司

秋 山 忠 也

若葉、青葉に風薫る皐月二十三日、元赤坂の明治記念館に全国各地より神社関係者が集い平成二十四年神社本庁表彰式が開催された。

先づ被表彰者全員での記念写真撮影があり、表彰式は池田厚子神社本庁総裁御臨席のもと午後一時半からおこなわれた。

開会儀礼に続いて池田厚子総裁より被表彰者である神職、神社総代役員二百七十名に日頃の神明奉仕に対しての労いと今、神社への期待が増す中、今後とも斯界の発展の為に精励される様にとの御言葉を戴いた。

本県からは、第三条第三号に稲積神社役員、小尾武氏、第三

条第二号に浅間神社祢宜、古屋真弘氏、同じく第三条第二号にわたくしの三名が表彰の栄に浴した。

閉会後、会場を移し神社庁主催の祝賀会を催して戴き、恒例との事で羽中田庁長より受彰者に第一種神社関係者徽章を着けて戴いた。

今回、図らずも受彰出来得ました事は身に余る光栄であります。もとより浅学非才の身であり神徳を发扬し神社の施設経営に格別の力を效し斯界のために貢献せられた功績は多大であるとは、甚だ恐縮至極であります。又、神慮を得、七月一日より本

務宮司として穴切大神社に奉職するに当り、これを機に神明奉仕の重要性を深く認識し斯道発展のため微力ながら全力を傾注する決意を

新たにいたしました所存であります。

以上で受彰者を代表して御礼と報告とさせていただきます。



県総代会表彰

武田神社 総代

数 野 三 郎

このたび図らずも表彰の栄に浴しましたこと、御神徳の賜と存じ誠に感謝に堪えません。

思い起こしますと約二十年前の平成三年二月、武田神社総代の重責を頂き、早二十年以上が経過致したわけでございます。

何も分ならず神社と同じ地域に住む者として、少しでも神社に協力できることに有り難さを感じ、また少しでもお役に立てるようにと努めてきたつもりであります。

総代拜命直後の武田神社御創建七十五周年記念事業を始め、間もなく迎える御創建百周年に向けた様々な行事、事業もあり、私なりにお手伝いさせていたただいたことが、今日の表彰また過日の敬神功労章の受章という誉につながったものと思います。今回の表彰を契機として、今後とも微力ではございますが少しでも神社の、また地域のために役に立てますよう努めて参りたいと考えております。

山梨県神社庁教化委員会研修旅行 に参加して

北口本宮富士浅間神社 権瀬宜 小澤輝展

去る六月四日～六日の三日間、山陽、北九州地方へと赴き、古屋真弘教化委員長を始め、神職、総代、一般参加者を含め十五名の参加を得て教化委員会研修旅行が開催された。早朝四時に北口本宮富士浅間神社を出発し、各所で参加者と合流し羽田空港より広島空港へと向かった。広島に到着後、大和ミュー



ジウムを見学し、フェリーで宮島へ渡り世界文化遺産である厳島神社にて正式参拝を行った。我々が訪れた時は、丁度干潮時で鳥居のすぐそばまで行く事が出来た。鳥居は四月三日の暴風の被害を受け修繕工事中であったが真近でその大きさを実感し、隈無く見学する事が出来た。ホテルでの夕食の後、今度はライトアップされた社殿や鳥居を

拝観した。

二日目は山口県の防府天満宮にて各自自由参拝、境内の散策を行った。続いて秋吉台、秋吉洞を見学し自然の雄大さを感じた事が出来た。また、ここで食べた夏みかんアイスはとても美味しく渴いた喉を潤してくれた。

最終日である三日目は先ず、下関の龍宮造りで知られる赤間神宮にて正式参拝を行った。赤間神宮では、水野直房宮司自ら境内をご案内頂き非常に丁寧な説明をして頂いた。水野宮司のお話はとても興味深く、もっと



沢山のお話を拝聴したかったのだが時間の都合もあり、我々は水野宮司のお見送りを受けつつ赤間神宮を後にし、次の目的地である門司港へ向かった。門司港散策の後、昼食をとり北九州空港から羽田空港へと向かい参加者は沢山の思い出と共に帰路に着いた。

今回私は始めて参加させていただいたのだが、非常に有意義で意味深く貴重な経験をさせて頂いた。今回の研修旅行での経験を是非とも今後の神社奉仕に活かして行きたいと思えます。

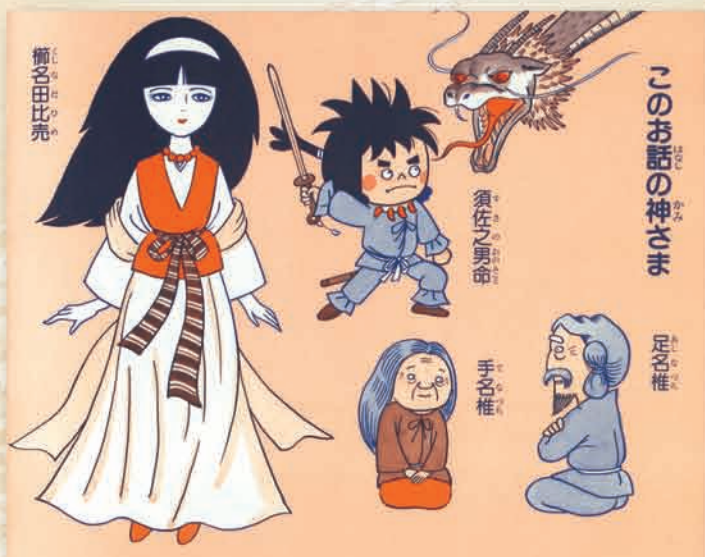
まんが古事記

やまたのおろち (第一話)



お子さん、お孫さんと、

神話の世界をお楽しみ下さい。



「全国神社保育団体連合会」提供

問い合わせ 東京都渋谷区代々木一―一二

神社本庁内

電話 〇三―三三三九―八〇一一

一冊 一二〇円

あらすじ

高天原でいた
ずらばかりして
いた須佐之男命
は、天照大御神
さまのお教えに
よって、りっぱ
な神さまになる
ために旅に出ら
れました。
命が出雲国の
肥の河のあたり
までこられると、
上流より箸が流
れてきました。
命は上流にだれ
か住んでいると
思い、川に添っ
てのぼっていく
と、そこには
足名椎・手名椎
の神が娘の櫛名
田比売をいだい
て泣いていました。
そこで命は、
足名椎からおそ
ろしい八咫の大
蛇の話聞かさ
れるのでした。







(一五九号 第二話へ続く)

神道青年会活動報告

山梨県神道青年会 会長

田 邊 將 之

現在当会では創立六十周年記念事業の大詰めを迎えております。過日六月二十五日には第六十二回神宮式年遷宮啓発活動として「山梨から行くお伊勢参りのすすめ」葉を発刊致しました。県内神職の方々にはご活用頂ければ幸甚に存じ上げます。そして『山梨県神社誌』も順調に編集作業が進んでおり、本年十月



には発刊の予定です。『山梨県神社誌』再編作業の苦労は

筆舌に尽くし難いものがありますが、会員の絶大なる協力を得て県内殆どの神社の撮影を終了しており（撮影風景を写真にて掲載してありますのでご覧頂ければ幸甚です）、残すは原稿の編集と校正でございます。

また、本年は沖繩本土復帰四十周年ということで神道青年全国協議会主催のもと、過日六月十一、十二日と沖繩県にて「本土復帰四十周年奉告祭並びに沖繩県全戦没者慰霊祭及び尖閣諸島諸問題早期解決祈願祭」



に参加して参りました。更に本年七月二十五、二十六日には東日本大震災復興支援活動として神青協一都七県協議会の同志と共に、福島県はいわき市の仮設住宅へ様々な催し物を用意し慰問活動に行き予定でございます。

多岐に渡り意義有る事業を展開しておりますので今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。活動報告とさせていただきます。



表紙写真説明

北口本宮富士浅間神社では例年七月一日の開山祭に先立ち、六月三十日は開山前夜祭で賑う。当日は、富士講の道者、氏子崇敬者等凡そ三百人が列をなして富士山駅近くの（旧富士吉田駅）最寄の金鳥居公園を出発、富士みち（国道一三七・一三八号）約二キロを歩き神社に至る「富士講パレード」。引き続き、夏越大祓。茅の輪くぐりの後、社殿においての祭祀を終えて吉田口登山道の基点である本殿西側の鳥居にて、「手力男命」が架けられた大注連縄を大槌で切る「お道開き」で夏山が開かれる。



豊栄の舞の研修を終えて

山梨県女子神職会 会長 宮 下 富 枝

さる六月八日神社庁に於いて女子神職会主催の「豊栄の舞」の研修会が開催されました。

一昨年に続いて二回目なので午前中は、基本動作、午後は、二人舞、四人舞の修得で進行し講師を務めさせていただきました。

豊栄の舞は、終戦後間も無い昭和二十五年頃、神社本庁に於ける祭祀舞の制定が実現され以



来、神社本庁の雅楽指導者養成研修会と共に講習が行われていましたが、昭和六十二年から第一回祭祀舞研修会が開催され現在に至っており広く定着するようになりました。

当日は、眩い深緑の中、窓を

全国大会と被災地訪問（六月四、五日）

山梨県神職保護司会 事務局長 石 原 鎮

震災のため本年岩手で開催。会員五名、早朝四時発、酒宴八時間バスの旅。青水無月の東北

道、広田はさながら瑞穂の国。陸奥の青田に映らふ朝日かな

会場の花巻は、宮沢賢治縁の地、民話の故郷遠野にも近い。此度多くの神社が被災した。西

館功序長自ら築三年の自宅が流されるも震災直後から陣頭指揮を執り、支援車両、米を募り広大な県内を回った。海の祓、鎮魂の祓で浮遊する御霊を鎮めることが今後神職の責務と言う。

総会の後、語り部による遠野

開けエアコンを付ける程ではない晴天に恵まれ、皆で何度となく繰返し舞っているうちに汗が背中を伝わる程に集中し、一日の講習も短く感じた一日でした。

会得しました舞を祭典で奉仕したり、地域の子供達に教えた、今後の神道教化に役立てていただけたら幸いです。

の民話に酔う。意味不明だが、言葉のリズムが心地良い。

外国の言葉と思しき遠野もの翌日世界遺産中尊寺を見学。義経、芭蕉の足跡に思が巡る。

破れ道炎下を古人も歩みしか一行より別れ、気仙沼より太平洋岸の被災地に入る。すると

景色は一変。住宅の礎石のみを残し見渡す限りの荒野である。所々鉄骨だけがむき出のビルと瓦礫の山を見る。

剥け落ちて梅雨寒しビル二棟帰路、石巻市北上町釣り石神社を参拝する。北上川河口に近



い集落は十mの津波にさらわれ、地区の多くが流された。川向うの大川小では児童七十四人が犠牲になった。岩波宮司は「二帯沼地のようになり、境内の杉の多くが立ち枯れた。」と言う。

今は枯野となってしまったが神社の男石「落ちそうで落ちない岩」は震災にも耐え、合格祈願の名所となっている。一同心ばかりの見舞金を奉納し、慰霊碑に玉串を捧げ復興を祈った。被災地や我家何処と里燕

再拝

平成二十四年度 山梨県氏子青年協議会総会開催報告

山梨県氏子青年協議会 副会長 蔦 木 武

平成二十四年度山梨県氏子青年協議会総会が、六月二十四日午後三時から、甲府市太田町の割烹きよ春において、山梨県神社庁長羽中田進様、同副庁長根津泰昇様をはじめとする来賓の皆様のご臨席を賜り開催された。

本職による開会の辞の後、神宮遙拝、国歌斉唱に続き、鶴田会長が挨拶をし、来賓を代表して羽中田庁長から御挨拶を賜った。

慣例により、鶴田会長が議長に選出されて議事が始まり、最初に、事務局から平成二十三年度事業及び決算報告並びに監事による会計監査報告がなされ、いずれも承認された。

続いて、北口本宮富士浅間神社氏子青年会創立十周年記念式典参列（本年七月七日）、全国氏子青年協議会宮城大会参加（同月十五日～同月十六日）、各単位会神社例大祭参列及び当会現役役員の任期が平成二十五年

三月三十一日をもって満了となることから同年三月の臨時総会開催を柱とする平成二十四年度事業計画案が提出されるとともに、同計画案執行のための歳入歳出予算案が事務局から提出され、いずれの案件についても満場一致で承認された。

また、北口本宮富士浅間神社氏子青年会役員改選に伴い、同青年会から当会役員の一部改選案が提出され、これについても承認された。

以上、事務局から提出された議事案件は全て承認されて議事は終了し、新海副会長による閉会の辞をもって閉会となった。

閉会后、本総会会議場隣室において懇親会が行われ、皆大いに語り合い、会員同士の懇親をより一層深めた。

結びに、御多忙中のところ御臨席賜りました来賓の皆様に厚く御礼申し上げて、平成二十四年度山梨県氏子青年協議会総会開催報告とさせていただきます。

全国氏子青年協議会第五十回定期大会・ 宮城大会開催報告

山梨県氏子青年協議会 会長 鶴 田 勇 雄



宮城県の氏青協の努力と全国の単位会の協力の元行うことが出来たのだと胸が熱くなりました。次の日は、石巻市へ震災の現状視察へ行ってきました。復旧から復興へと日々進んでいる場所もありましたが、瓦礫の山と雑草の覆い茂る住宅跡地を見ると、まだまだ支援の手が必要だと感じました。

我々は、忘れてはいけないのです。一人一人の行動は微力ですが心を一つに復興へ向けて頑張ります。



去る平成二十四年七月十四日にホテル松島大観荘において『全国氏子青年協議会第五十回定期大会・宮城大会』が全国より総勢五百名が参加の中開催されました。

志波彦神社・鹽竈神社にて正式参拝を行い、その後大会へと進みました。この宮城大会は第四十九回に開催される予定でした。しかし昨年（東日本大震災）の影響で開催が叶わず本年行われることとなったのです。これも



支部だより

甲府支部

甲府支部研修旅行に参加して

甲府支部

遠藤 倫生

去る五月十三・十四日の二日間、甲府支部研修旅行に参加させて戴いた。本年の研修旅行は、「東日本大震災」において関東で多大の被害があった、香取神宮・鹿島神宮の視察並び参拝を目的として行った。

一日目は香取神宮に、二日目は鹿島神宮に正式参拝をさせて戴き、参拝後境内の視察を兼ね



て職員の方にご案内戴いた。震災当時、両神宮共に、百基以上ある参道の灯笼と大鳥居が倒

壊、目も当てられない程の状態だったと両神宮の宮司様は深刻におっしゃっていた。

震災後、地域の方と共に復興活動をし、百基以上倒れた灯笼は修復し再建された。また、香取神宮の大鳥居は根本を補強し再建されているが、鹿島神宮の大鳥居は倒壊し現状の補修再建は困難の為、境内の杉材を用いて平成二十六年に建立される。

「東日本大震災」により両神宮ともに被害は大きかったものの、御社殿の損傷は少なく、また参拝者並び職員への怪我が全く無かった事は、大神様のご神徳と感謝申し上げていた。

北都留支部

神社参拝研修旅行

北都留支部長

渡邊 學

隔年で実施している神社参拝研修旅行が五月三十日より二泊三日で行われました。今年は和同五年に古事記が編纂されて千三百年という事で淡路島、鳴門へ、各地区より乗車し一路兵庫、明石海峡大橋



を渡り洲本温泉に泊まる。翌日淡路の国一ノ宮伊弉諾神宮に正式参拝、車中で伊弉諾神宮の由緒についてお

借したDVDを見て勉強してからの参拝となった。本名宮司様より神社の説明を受け神社職員の方に境内の案内をしていただきました。その後、おのころ島神社の参拝をして、大鳴門大橋を渡り昼食後、大鳴門橋遊歩道よりうず潮を観て淡路島を後にして、有馬温泉の湯にゆったり浸かった。最終日、神戸の生田神社に正式参拝、参拝後会館にて神社の由緒の説明を戴いた。なお伊弉諾神宮の本名宮司様には、飲み物をご配慮を戴きました。今回は古事記編纂を記念した年に適した有意義な神社参拝旅行が出来ました。

支部総会報告

東八代支部総会

日時 五月十二日(土) 午後二時

場所 浅間神社

峡南支部総代会総会

日時 五月十五日(火) 午後一時三十分

場所 中富総合会館

峡北支部総代会総会

日時 五月十六日(水) 午後三時

場所 魚光会館

峡中支部総会

日時 六月十九日(火) 午前十時

場所 櫛形生涯学習センター

各総会には羽中田庁長、宮川総代会長が出席しました

今後開催予定の支部総会

甲府支部神職総代会合同総会

日時 七月二十五日(水) 午後一時

場所 ベルクラシック甲府

北都留支部総代会総会

日時 七月二十六日(木) 午後一時

場所 大月市民会館

峡北支部神職総会

日時 八月三日(金) 午後三時

場所 魚光会館

東山梨支部総会

日時 八月下旬

場所 山梨市民会館

南都留支部関係者大会

日時 十月三十日(火) 午後三時

場所 ハイランドリゾートホテル&スパ

祭典を斎行して

(神社・祭典紹介)

西嶋太神社 宮司

望 月 久 男

西嶋太神社・沢奥の祭(神楽)新緑の富士川べりの夏祭りのはしり。それが和紙の里西嶋の「沢奥の神楽祭り」である。

県無形民俗文化財、神楽の部第一号として、昭和三十九年に指定された。四百年の伝統を誇る峡南地方でも有名な素朴な中に、ふるさとの風情をこめた神楽である。

毎年こどもの日の五月五日、国道五十二号線添いの西嶋沢奥の特設神楽殿で上演される。

今年特に好評だったのは、齋場浄めの「御反閉」で、足で悪霊を踏み鎮める祈禱の舞は、県下で唯一伝わる古い貴重な舞や



筆者の舞う「御反閉」

重な舞や「白狐玉取の儀」などであった。西嶋神楽の特色は「少年神楽団」(後継養

成案)で、小三・小六(合計二十名)の男子の「神楽ばやし」や女子の「巫女の舞」であった。県内外から五・六〇名のカメラマン、一、〇〇〇名近い人々が、新緑と民族のロマンのかもしれない出ず香りに酔いしれていた。

一宮浅間神社 宮司

古 屋 眞 孝

一宮浅間神社の

「夫婦梅について」

当社の祭事暦の中に、「梅の折り枝の神事」というのがある。期日は、旧暦の四月第二亥の日である。実は、この日は明治以前の当社例大祭の日に当たる。

御祭神木花開耶姫命の御神徳による子授けの霊験あらたかとされる小祭の日である。

現在の五月下旬から六月初旬に当たる。

花は、十二月末ごろより咲き初める。紅色八重咲の、めしべが二本で二花で二果を結ぶ。現在、親木は根周り一m、地上八十cmのところまで四本になっている。高さは七mある。

正規の指定を受けたのは、昭和三十五年十一月七日付県教委教育長名で「右は山梨県指定天然記念物に指定する」という文面である。

よく樹令を聞かれるが凡そ二三百位ではないかと答えている。当社の神社誌に、「みゆきの途中、朝気の馬場孝道方より梅の折枝を献上し、乗子に酒を捧ぐ」という一文があるが資料らしきものはこの程度である。

何れにしても御祭神の御神徳に深くかわつている。

採取された梅の実焼酎漬にしてあるが、子授けの御祈願の方には祈願祭終了時撒下して御神札と共に差し上げている。その際のご挨拶は担当神職の工夫が必要である。尚、境内一隅にある巨大な石神様にも触れる必要があろう。

富士山小御嶽神社 宮司

小 佐 野 正 史

富士山夏山開山祭

—富士信仰とともに—

富士スバルラインの終点に鎮座する当社には、雪解けの



四月から降雪の一月月上旬まで、約二百万人の登拝がある。

小御嶽は昭和初期の学術調査で実は富士山よりも古い火山であることが解っている。

主祭神は磐長姫命で、浅間神社に祀られる木花開耶姫の姉神である。

当社祭礼のうち、七月一日の開山祭(ご来光を拝し午前五時斎行)は最もよく知られ、神事の後大天狗・小天狗が鳥居の注連縄を切つて道開きを行う。その際、女性の負ふ富士型神輿、さらには飾り神輿が渡御し、登山者の安全と富士山の平静とが祈られる。

富士講以来の山岳信仰は脈々と継承され、今日なお絶えることなく人々の胸に生きつづけている。

今夏よりユネスコ・イコモスにより現地調査が入り明年の世界文化遺産登録をめざす。

「緑陰子供会」

鎮守の森に子供達を招いて、ゲームや紙芝居・雅楽の演奏などを通して神社や神様に対する理解や親しみをより深めてもらうために行っている恒例の緑陰子供会を、今年も下記の日程で開催致します。

記

- 1、日時 平成24年 8 月 6 日(月)
- 2、場所 桃園神社 (村松常男宮司)
南アルプス市桃園624
- 3、内容 神社参拝 ゲーム 紙芝居
火鑽り実演 行灯作り 雅楽鑑賞
- 4、参加対象者 小学生

主催 山梨県神社庁
主管 山梨県神社庁教化委員会、山梨県神道青年会
協賛 桃園神社氏子総代会、桃園神社敬神婦人会、
山梨県神社庁峡中支部、山梨県神道雅楽会

「山梨県神社関係者大会」

平成24年度神社関係者大会を下記の日程、要項で開催致します。混迷する時局に鑑み神職総代共に神社神道の昂揚に邁進し、以て地域の平安・活性化と国の隆昌に寄与致したいと存じます。何卒万障御差繰り御参会下さいませよう御案内申し上げます。

記

- 1、日時 平成23年10月22日(月) 午後 1 時30分
- 2、場所 コラニー文化ホール
(山梨県立県民文化ホール) 小ホール
- 3、内容 第一部 神宮大麻曆頒布始祭
第二部 式典

「第12回神社関係者囲碁大会」

神社関係者の親睦を深め、併せて青少年の健全育成を図る目的を以って囲碁大会を開催致します。

- 1、日時 平成24年 8 月20日(月) 午前 9 時～
 - 2、会場 山梨県神社庁
 - 3、参加資格
一般の部 神職・総代・氏子崇敬者
青少年の部 小中学生 (各部門10名程度)
 - 4、参加費 一般の部 一団体に付き 5,000円
 - 5、申込期日 8 月 5 日(日)まで
 - 6、申込先 山梨県神社庁
- ※問い合わせ先 高野 英夫 0553-44-2150
小佐野文夫 080-5410-2303

主催 山梨県神社庁
主管 山梨県教育関係神職協議会
後援 山梨県神社総代会・山梨日日新聞社・山梨放送

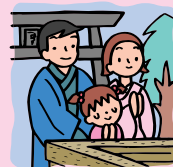
今後の予定

「全国敬神婦人連合会大会」

全国敬神婦人連合会大会が下記の日程で開催されます。本大会は、全国各県の敬神婦人連合会が一同に会して、意識の昂揚、情報の交換を通して、神社界の更なる発展を図ろうとするものです。

記

- 1、日時 平成24年10月31日(水) 午後 2 時
- 2、場所 国立京都国際会館 大会議場



「全国神社総代会大会」

全国神社総代会大会が下記の日程、要項で開催されます。本大会は、全国各県の総代が一同に会して、総代としての意識の昂揚、情報の交換を通して、神社界の更なる発展を図ろうとするものです。今年は栃木県での開催ですので、山梨県より日帰りバス二台 (80名)での参加を計画しております。

記

- 1、日時 平成24年 9 月 8 日(土) 午後12時30分
- 2、場所 宇都宮文化会館



「新穀感謝祭」

我が国の御親神、心のふるさとと仰ぐ「お伊勢様」。その限らない御神恩に感謝の真心を捧げ、「瑞穂の国」と称えられた我が国柄への思いを新たにす新穀感謝祭を今年も以下の通り実施致します。

ご近所の方、ご友人などお誘いの上御参加下さい。

記

- 1、平成24年11月19日(月)～20日(火) (一泊二日)
- 2、神宮では御垣内にて特別参拝、神楽殿での御神楽の奉奏が執り行われ、「干支の飾り皿」が参拝記念として撤下されます。
- 3、宿泊ホテル、行程、参加費は支部によって異なります。支部役員・神社宮司にお尋ね下さい。

籠の設置工事も終え、私も御殿脇に国歌『君が代』に由来する『さざれ石』も奉納させていただきました。

今回の表彰を機会として、今後とも微力ではございますが少しでも神社の、また地域のために役に立てますよう努めて参りたいと考えております。

この間様々にお導きいただきました土橋宮司様を始め職員の皆様方にもお礼申し上げます。